

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 健康で生きがいを感じられる生活への支援

施策コード 030202

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 高齢介護課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり（安心・健康）	節 第2節 高齢者福祉
	施策	健康で生きがいを感じられる生活への支援	

基本方針
 ・高齢者が、家庭、地域及び企業などで、豊かな経験、知識及び技能をいかし、生きがいと社会参加の促進を図れるよう、生きがいづくりと健康づくりを推進します。

現況と課題
 ・健やかでいきいきとした高齢期を送ることができるために、市民の生涯に渡る健康づくりを推進することが求められています。
 ・高齢化が急速に進む中、高齢者が持っている能力をいかして積極的に社会に参加していくことにより、生きがいにあふれた生活が送れるよう、支援が求められています。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）
 介護を必要としない元気な高齢者

意図（どのような状態にしたいのか）
 社会参加を支援するとともに介護を必要とする状態にならないようにします。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			53.1				
重要度（偏差値）			49.8				

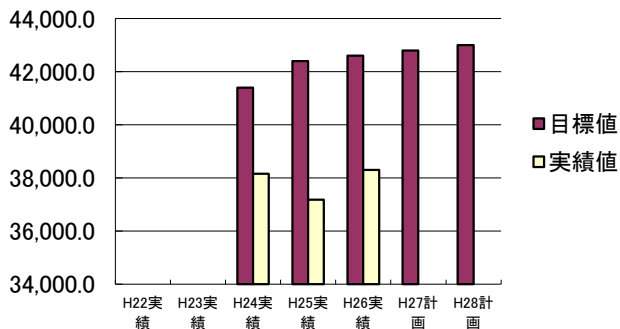
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H25決算	H26決算					
コストの内訳	人件費	千円	4,001	4,099				
	事業費		70,209	69,080				
	フルコスト		74,210	73,179				
財源内訳	国庫支出金	千円						
	府支出金		2,069	2,044				
	市債							
	その他		20,060	19,559				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		52,081	51,576				
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	48,080	47,477						

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		社会福祉センターの年間利用者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値			41,400.0	42,400.0	42,600.0	42,800.0	43,000.0
実績値			38,156.0	37,179.0	38,299.0		
達成度			92.16	87.68	89.9		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
老人福祉センターで開催されている趣味クラブや各種講座への参加者数やその他の利用者数の変化を把握することにより、老人福祉センターが高齢者の方の健康づくり等に役立っているかを把握することができます。		毎年200人程度の増加を目標値として設定。		高齢者の趣味嗜好の多様化により、全体としては減少傾向にある。（※平成23年まで対象であった、きちょう苑・アスティ・長寿園については、所管課変更となったため、H24より社会福祉センターのみとなった。）			

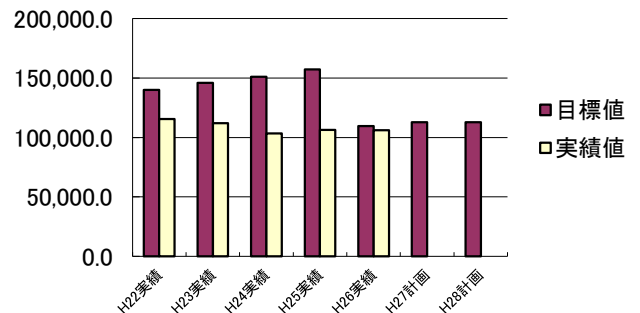
② 成果指標2		シルバー人材センター年間就業者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	140,000.0	146,000.0	151,000.0	157,200.0	109,597.0	112,884.0	112,884.0
実績値	115,488.0	111,876.0	103,274.0	106,405.0	106,204.0		
達成度	82.49	76.62	68.39	67.68	96.9		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
この数値を把握することで、シルバー人材センターによる高齢者への就業機会の提供状況がわかります。		平成24年から平成25年の実績値の伸び率を勘案し、平成26年より目標値を再設定した。		長引く経済不況の影響が、高齢者の雇用情勢にも悪影響を与えているが、受注件数や就業会員数の維持の為、積極的に事業運営に取り組みを行ったが、結果として、年間従業者数の減少となった。			

③ 成果指標3		ひとり暮らし高齢者交流会参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	750.0	750.0	750.0	750.0	750.0	760.0	760.0
実績値	768.0	733.0	751.0	729.0	761.0		
達成度	102.4	97.73	100.13	97.2	101.47		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
交流会に参加することで、ひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止や孤独を解消し、多くの仲間づくりと交流の輪を広げることに、どれだけ貢献したかがわかる。		H21からH25までの平均値を設定した。		3箇所で開催している交流会は、毎年700以上のひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止や、仲間づくり・交流に役立っている。			

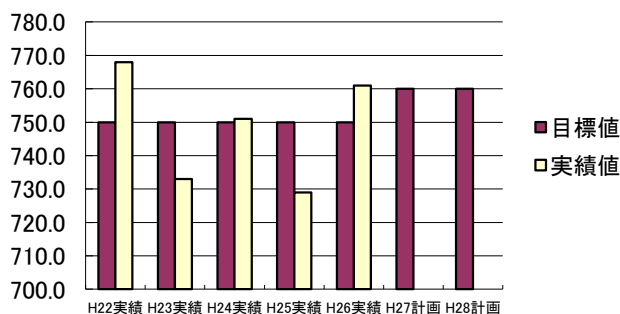
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等	
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	シルバー人材センター育成事業の就業延人員数は、経済活動状態に大きく依存しているため、長引く不況のため、成果レベルも低迷しているが、それ以外の事業は、概ね、盛況であった。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	【シルバー人材センター】高齢者の就労機会の福祉の増進(生きがい) 【ひとり暮らしの高齢者交流会】引きこもりがちなひとり暮らし高齢者に対する地域での相互交流のための交流会開催 【社会福祉センター】社会福祉事業の基幹的施設 【老人福祉施設】高齢者の各種相談、健康の増進、教養の向上など高齢者の生きがいづくりや憩いの場 【老人福祉農園】待機者が常にいる状態。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	核家族化と高齢化の進展により、要介護者や高齢者のいる世帯が増加し、地域での繋がりが希薄化。長引く不況。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	就労機会、農園、交流会及び福祉施設等の利用者が全体として微減となっている。特に就労機会については、長引く経費低迷により影響するところが大いだが、施策としては、高齢者が地域でいきいきと過ごせる社会を作るために役立っている。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	シルバー人材センター年間就業者数の向上に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	C	シルバー人材センター年間就業者数の向上に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01016900	老人福祉農園事業	1,280	211	211	264	B
2	01017200	シルバー人材センター育成事業	626	31,460	11,960	31,960	B
3	01017500	ひとり暮らしの高齢者交流会実施事業	705	1,797	1,797	1,797	B
4	01022450	社会福祉センター管理運営事業	1,253	30,756	30,697	30,757	B
5	01022800	高齢者の生きがいと健康づくり事業	235	4,856	2,812	4,870	B
合計			4,099	69,080	47,477	69,648	